

社会教育研究部門

「青年の自立と教育文化」研究部会（第60回）

日時：2018年2月15日（金）14:00～16:00

場所：野間教育研究所 2F 閲覧スペース

出席：田嶋一・上野浩道・内藤俊史・齋藤智哉・青柳路子 各兼任研究員
吉久知延所長・金沢千秋・泉水里香

内容：（1）上野浩道氏の紀要執筆分「第5章 青年の精神的自立にはたらく宗教と教育文化—西田幾多郎と西田天香の事例を通して—」の原稿発表。第2章までは前回研究会で発表済み。新規原稿は第3章以降

◆全体の構成案

はじめに

第1章 西田幾多郎の〔無欲〕と精神の自立

第2章 西田天香の〔捨欲〕による精神の自立

第3章 精神的自立における宗教と教育文化

1 「精神の決定性」にはたす儀礼の役割

- ・規範を通しての自立
- ・自力による〈投企〉という儀礼

2 精神的自立の基盤にある宗教

- ・他力と懺悔という再生
- ・自立をめぐる日本的特徴

3 精神の自立に関する教育的装置

- ・自立にはたらく〔意欲〕と教育文化
- ・〔依存〕と〔共存〕という場所から社会への〈投企〉

おわりに

（2）内藤俊史氏の紀要執筆分「第6章 青年期における心理的自立—感謝感情のあり方を通して—」の原稿発表と検討

◆全体の再構成案

はじめに

1. 青年期における心理的自立

(1) 心理的自立と他者との関係の再構成

(2) 心理的自立にともなう感情

2. 心理的自立にともなう感謝の変容

(1) 児童期における感謝の発達

1) 感謝の文法の習得

(a) 感謝の文法の内容 (b) 感謝の文法の習得に関わる研究

2) 感謝の機能に関する意識の変容—応報の感謝から関係の感謝へ

3) 青年期に至るまでの感謝の発達

(2) 青年期における心理的自立（関係の再構築）と感謝の変化

1) 感謝の文法にもとづく感謝の関係の見直し

2) 青年期における感謝のもつ課題

- 3) 関連するいくつかの研究—親に対する感謝の変化
 - 4) 青年期における心理的自立と感謝の変容
3. 試みの調査—心理的自立と感謝との関係
- (1) 調査の目的
 - (2) 方法
 - (3) 結果
 - 1) 各々の仮説について
 - (4) 調査にまつわるいくつかの問題
 - 1) 「独立性」あるいは自己確立の年齢的变化
 - 2) 心理的自立と感謝の性差

おわりに

(3) 今後の予定

- ・ 上野氏、内藤氏は、今日の検討を反映して、3月9日までに完成原稿としてデータを研究所に送る
- ・ 次回研究会では齋藤氏、青柳氏が原稿発表
- ・ 2018年4月からの入稿開始を目指す

- ・ 次回研究会は、2018年3月16日14:00～。